

平成31年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技

試合日	2019年7月31日(水)	秋田県立能代工業高等学校		17 - 26 12 - 16 12 - 19 17 - 22	83	開志国際高等学校
開始時刻	15:00					
会場	サンアリーナせんだい					

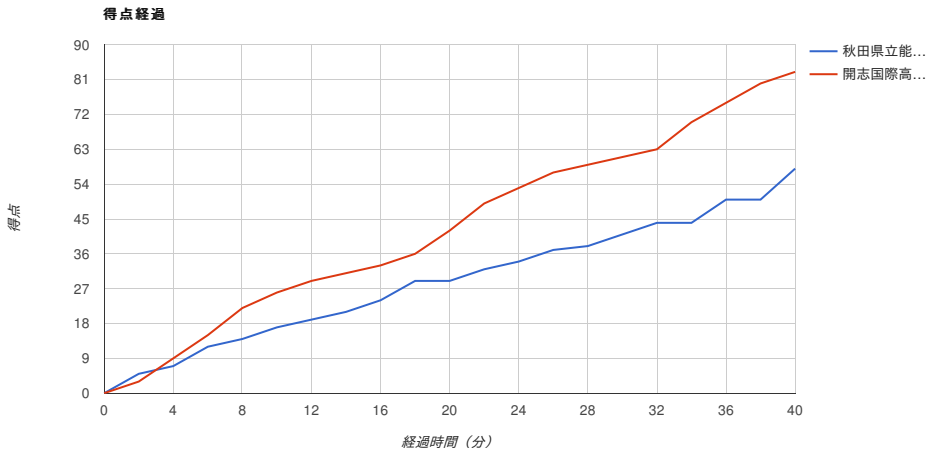
秋田県立能代工業高等学校

No.	選手名	GS	PTS	3P		2 P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	DFL	DQ	MN	
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT											
4	須藤 陸	●	7	2-5	40	0-1	0	0	1-2	50	0	1	1	2	1	1	0	1	0	2	0	0	0	30:07
5	栗屋 颯太		2	0-0	0	1-4	25	0	0-0	0	1	1	2	0	1	0	2	4	0	0	0	0	0	12:56
6	森山 陽向	●	4	0-0	0	2-4	50	0	0-0	0	3	1	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	21:22
7	秋元 淳之介	●	2	0-2	0	1-5	20	0	0-0	0	2	4	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	25:36
8	伊東 翼	●	19	5-14	35	1-7	14	0	2-2	100	4	2	6	5	1	0	1	2	0	0	0	0	0	36:26
9	上村 悠真		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
10	上村 大佐		2	0-0	0	1-6	16	0	0-0	0	0	5	5	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	20:06
11	佐々木 駿汰	●	14	4-7	57	1-3	33	0	0-0	0	1	3	4	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	30:43
12	中山 玄己		2	0-5	0	1-2	50	0	0-0	0	2	2	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	17:48
13	高橋 裕心		6	0-2	0	3-3	100	0	0-1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4:56
14	成澤 頼		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
15	大石 隼		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	DNP
	TOTALS		58	11-35	31	11-35	31	0	3-5	60	14	19	33	10	6	2	13	12	0	0	0	0	0	200:00

開志国際高等学校

No.	選手名	GS	PTS	3P		2 P		DK	FT		RBD			AST	STL	BLK	TO	PF	TF	FO	DFL	DQ	MN
				MA	%	MA	%		MA	%	OR	DR	TOT										
4	高木 拓海	●	11	1-3	33	3-4	75	0	2-2	100	1	3	4	10	1	0	3	3	0	0	0	0	34:18
5	板澤 明日起		2	0-0	0	1-2	50	0	0-0	0	1	0	1	6	0	1	1	0	0	0	0	0	23:59
6	永原 陸	●	0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	13:37
7	吉川 瑠		0	0-1	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:59
8	渡邊 渉太		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2:24
9	白澤 朗		3	0-1	0	1-1	100	0	1-1	100	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2:41
10	田村 歩夢		0	0-1	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2:24
11	小島 一真		2	0-0	0	0-1	0	0	2-2	100	1	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	5:42
12	ジョーンズ 大翔	●	26	3-6	50	7-13	53	0	3-3	100	0	4	4	3	0	1	4	1	0	0	0	0	37:36
13	小野 功穂	●	11	1-2	50	3-4	75	0	2-4	50	1	3	4	0	1	1	1	2	0	0	0	0	37:19
14	JOOF Yus uf	●	22	0-0	0	11-15	73	0	0-0	0	1	16	17	2	1	0	3	2	0	0	0	0	30:19
15	OKOYE PETERJUNIOR		6	0-0	0	3-5	60	1	0-0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7:42
	Team/Coaches		0	0-0	0	0-0	0	0	0-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	DNP
	TOTALS		83	5-14	35	29-45	64	1	10-12	83	6	30	36	24	4	3	14	9	0	0	0	0	200:00

No: 背番号 PTS : 得点 AVG: 1試合平均得点 M: 成功数 A: 試投数 %: 成功率 2P: 2ポイントシュート 3P: 3ポイントシュート DK: ダンク FT: フリースロー RBD: リバウンド OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: 合計 AST: アシスト STL: スティール BLK: ブロックショット TO: ターンオーバー PF: パーソナルファウル, クリア・パス・ファウル, アウェイ・フロム・ザ・ブレイク・ファウル, フレグランドファウル, バンキングファウルの合計 TF: テクニカル・ファウル FO: ファウルオン DFL: ディフレクション DQ: 退場回数 MN: 試合出場時間



戦評

第1Q 両チーム共にマンツーマンディフェンスでのスタート。開始1分、両チームシュートまで持ち込むが得点まで結びつかず無得点が続く。能代工業#11の3Pで均衡が崩れると、すかさず開志国際も#12が攻め込み、バスケットカウントを得る。能代工業は、無理に中へ攻め込まず、速いパス回しからのショットや、スクリーンを使い外からのショットを決めていく。対して開志国際は#14、#13のゴール下からのシュートで応戦する。その後も開志国際は#12のドライブ、#14のゴール下で得点を重ねると、能代工業も#8の2Pや3Pで取り返し、両チーム一歩も譲らない展開が続いた。しかし、残り3分頃からは能代工業も果敢に攻めるが得点に結びつかず、開志国際#14などの連続ポイントで引き離された。終盤、能代工業は#11の3Pで勢いをつくり終わりがかったが、ループパスから開志国際#14の2Pを決められ17-26で第1Qは終了した。

第2Q 能代工業はスクリーンからの攻撃を徹底し得点していくが、なかなか差を詰められない。流れを変えたい能代工業は中盤にオールコートマンツーマンに切り替え、開志国際にプレッシャーをかけていく。両者激しい攻防となり、開志国際は連続してファウル。特にゴール下では両チーム激しいポジション争いが繰り広げられた。インサイドで勝負を仕掛ける開志国際が優勢に試合を進めていく中、粘る能代工業も#8の3Pで応戦したが、29-42と開志国際リードで前半を終える。

第3Q 開始早々、開志国際#13が3Pを決めると、すかさず能代工業#4も3Pで取り返す。開志国際の#4、#14を中心とした攻撃に対し、能代工業は速いパス回しから攻撃のチャンスをうかがうが、得点するまでにいたらず、点差は縮まっていかなかった。少しでも点差を縮めたい能代工業は引き続き、オールコートマンツーマンをしかけるが、開志国際が確実にリバウンドをとり得点を重ねていき、次第に点差を広げていく。残り5分、34-57となったところで、能代工業が後半1回目のタイムアウトを取る。タイムアウト後、能代工業#8が落ち着いて3Pを決め、#4のドライブから相手のファウルを誘う。しかし、開志国際も慌てることなくブレイクし、点差は縮まらず、41-61で第3Qを終了する。

第4Q 能代工業ボールでゲームスタート。勢いにのりたい能代工業は#4が3Pを決め先制する。対する開志国際は#5、#14、#12の連続2P、さらに#12が3Pを決める。ここで能代工業が2回目のタイムアウト。タイムアウト後またも能代工業#8が3Pを決めるが、開志国際も#4、#15の連続2P、#12の3Pと攻撃の手を緩めることはなかった。残り3分、能代工業はオールコートマンツーマンで必死に食らいついていく。#10の2P、#13のドライブからの2Pなど得点するが、開志国際#9もバスケットカウントを得る。能代工業は残り30秒を切ったから果敢に攻め入り、相手のファウルを誘う#13のドライブシュートなど、最後まで諦めることなく攻め続けたが58-83でタイムアップ。開志国際が準決勝進出を決めた。

文責: 新地 弘之

主審	伊藤彰二	副審	小島慶子
副審	前田隼大	副審	
スコアラ	伊集院高校	サブスコア担当者	